



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、「美しい」という言葉が心に響きました。原爆の被害にあわれた人たちがわきをすらないように手をななめ前に出している人形を見た時昔の記憶がよみがえって言葉ではあらわすことができないほどつらかったのだと思います。そして最後に見たビデオでは義三さんが言っていたことや、川村先生を見て戦争のつらさが、学校の授業よりずっと強くつたわってきて胸がいたくなりました。今回特別授業を受講して二度と戦争はんとおきてほしくないと強く思。たし原爆はんとせうたい落してほしくないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は、今日の話聞いて、池田先生のお父さんが17さいで軍隊に入りトラックを待っている最中に原爆弾にあたりと聞いた時僕は「このタイミングで」と言葉がつかえてしまいました。そして、義三たちに助けをを求める声や、原子爆弾でせくなってしまった遺体を山などに運んでいたと言う時、もどれだけ辛いかと思うと自分もなみだかですそうになりました。ぼくは、この話を聞き原爆でひふかはがれ落ちた人、ま、黒こげで灰みたいになっている人などたくさんの人に出会い、助けたいけど助けられない苦しさ、悲しさがあったと思うのにそれを乗り越えた事にとっても感動しました。ぼくも苦しい事でも乗り越える事が出来る勇気を持ちたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は原爆について教えていただき、ありがとうございます。

私は、お話を聞かせていただき、首ぐと胸のおくが、苦しくなりました。

人々の苦しみや、悲惨さを知って、改めて、原爆の恐ろしさを学ぶことが
できました。火傷で皮膚がただれ、まるで人ではないうような形になってしま

っている人達や、痛くて動けなくて、道路に倒れてしまっている人、原爆の被

害によって苦しんでいる人のことを考えただけで、もう話を聞きたくは

いと思ってしまうました。もし、私がかつとまえに生まれ、同じ原爆をう

けていたら？人が酷く躓く姿を實際目の前で見たら？と考えて

いたら、今度は何も考えられなくてなってしまうました。約7000℃もの物体

が落ちてきて、私は3000℃もの熱気にたえれるのだろうか？あの、私達の

生活に必要な、熱い熱い太陽よりも熱いものが落ちてくることじつ

いが考えられな。私は、一つの命でも大切にしまえのよう悲惨

なことを起こさずいようにしたい！そう思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は今回の原爆先生の特別授業を受講して学んだこと・考えたことが又つあります。

1つめは、戦争のおそろしさです。原爆があり、空襲、色々なことで大切に尊い命が失われていくということも、今回の授業で改めて知れたからです。このような戦争も、知ってくり返さないという、思いが、この悲慘なことを、なくしてくれると思いました。

2つめは、原爆についてです。原爆は、一瞬にして皆の命をうばっていくものだということを知りました。この原子爆弾をなくし、大切な命を守ることが大切と思いました。日本はここまで原爆に苦しめられていたから、これをなくしていけるヒントを求めていると思います、またこのようなことが起きないようにしていくことが必要だと感じました。

今日は、原子爆弾について、教えてくれてありがとうございました。これから原爆のことをもっと知り、していきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の特別授業から感じたことは、「平和のありがたさ」です。原子爆弾によって非害にあわれた方の非さんな姿が、池田先生の話から目にうかびました。しかし、現実には私の思い描かっている以上なのだと思えます。そう思うと、原子爆弾のおそろしさが感じられます。また、戦争がなく、火が焼け死ぬような姿を見ることがない今日は、「平和」であるとも感じられました。今後、私たちが社会を作っていくうえで、「平和な世」を続けていくためには、戦争の非さんさ、それについて深く知り、その事実を受け取めることが大切だと思います。そうすれば、「平和のありがたさ」といったり、言葉に表せないほどの感情がこみあげていくはずです。もう二度と、今を生きる、未来を生きる人々に、戦争によってきょうろを味わせない、その決意を大切にしていきたいです。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今まで社会で原爆が落された人々の生活のしかたやなぜ原爆を落したかなど全部分かったつもりでいました。ですがこの特別授業を行ったことで、もっと詳しく分かりましたし、教科書にものっていないことを分かりやすく教えてくれました。そして、自分たちがこれからどのように世の中を進めていけば良いか分ったような気がします。さらに、もう二度と人々をきずつけないという決意もうまれました。私はまだ子供なので国のことなどはかえられません。ですが、身近なことから一つ一つ見直していくことが今の私たちにできることだと分かりました。そして、他の人たちにもこのことを伝えていくことでよりよい未来につながっていくと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先日の特別授業を受けさせてもらい
ありがとうございました。

ぼくは、原爆の近くに住む人は糸色交打に
目からなしいと思います。

このことから、無差別に人が死んでしまう
原爆は、あてはならないものだと
思いました。

そして、原爆は今のぼくらの平和をおびやかして
しまうものなので、

今後こういうことがないように、
ぼくも後世に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講してとても「悲しいと感じました。ただ、つうに暮らしていた広島そして長崎の人たちは原爆により広島は当時の全ての人口の約40%の人たちがおせくなりになりそのうち2万人の人たちは一瞬で亡くなりました。きっと原爆の被害にあつた方としてもくるしい、つらいと池田先生のお話からもそして先生のお父さんのお話からも伝わってきました。また先生のお父さんのお話であった、その時の様子を表した人形をみた時の言葉「きれいすぎる」がほくの心にとても響きました。これは本物を知っていた人だからこそこの言葉だと思います。ほくが画像をみた時は正直きたないと思いました。でもそれを「きれいすぎる」といえるのは本物がとてもひどいものだったからだと思います。」人だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特特別授業を受講して、原爆
 はたちむかうことは「死」となりあわせだとして。原
 爆は、私が、思、てい、たより生ぬるくながた。池田
 先生の、「ドーン」の声にひび、ていた私は、この声よ
 りも、と音が大きいと思、ただ、けで、二わくなた。
 音だけではない、痛みもくるのだ。これだけ、聞くと日本
 がかわいそうかもしれないが、日本は、わ、ては、い、け
 ないことをしたのだ。とうぜん、の運め、い、か、も、し、れ、な、い、。
 それでも何万人もの人が死んだ。このことを、二
 度とくりかえしては、い、け、な、い、。くり返、え、し、たら、
 昔よりも、多、く、の、人、が、死、ん、で、し、ま、う、た、か、ら、日本は、世
 国とあら、わ、て、は、い、け、な、い、。

原爆弾投下都市の条件を見て①の直径5km
 起えることには、た、い、し、ア、メ、リ、カ、は、多、く、の、人、々、を、こ、ろ、え、ら、し、て、い、
 たことがわかる、そんなアメリカとは、仲よくしていきな、い、。
 爆弾をおとされ、な、い、よ、う、な、平、わ、な、国、を、作、り、ま、す、た、い、。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の特別授業を受講し、原子爆弾の
 凄^心しさを知りました。原子爆弾の「熱線」「衝撃波」
 「放射線」。1945年、8月、6日、朝8時。長は3.12メートル、47の
 リトルボーイが高度約10000mから広島に投下。その一瞬で
 約24万人を広島市の人口の70%を被爆させた恐怖。
 たくさんの人々が泣き、悲しみ、叫び。とつとつと
 悲惨な原子爆弾。ぼくは、原子爆弾こそが、地獄の
 の入り口。地獄その下だと思ひました。

人を地獄におとしこめるためだけの核兵器
 は、絶対に、根絶せられるべきだと思ひます。

音おき返、衝撃波。3000℃を超える熱線。
 人を地獄へとおとしこめる放射能。原子爆弾の悲
 惨さを、自分たちが知り、伝えていきたいと思います。この特別
 授業の受講を最大まで活かしたい。原子爆弾の
 被爆により、亡くなった人のために、先生の
 人に伝え知ってもらい、語り続けていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくたちは、歴史で原爆のことをやっておそろしさを知ったつもりでした。でも今日の原爆先生の授業で本当のこわさを知れたと思います。

特に、爆発したときに体内の水分がなくなり、炭のかたまりになることをしたときや、全身が赤くなってトラックに乗せようとしても皮膚がはがれてしまったり、ふくらはぎから大量のうじ虫が出たりしたのがこわかったし、一番いんしょうにのこりました。

そして、池田先生のお父さんがへいたいで、上に書いたこれらのことをたのけんしたことがあり、池田さんとお父さんが広島きねんしりょう食宮に行ったときに「うつくしすぎる」と一言だけ言ったそうです。

なので、いつかぼくもいて、ひびくした人を見て、その人がひさんなすかたをしていてなお、池田さんのお父さんがキレイといったらぼくには想像もできません。なのでどんなにひどい世界かは、分かりません。でも、おそろしさは分ると思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原子爆弾が、太陽よりも熱いことを知って、おどろきました。五年生か六年生の時に、月と太陽の熱強さをして、6000℃でも、おどろいたのに、太陽よりも1000℃高い、7000℃だからです。東京スカイツリーの、634mも高い所から、爆弾が落ちてきて、あつたためて、昔の人は大変だったんだなと思いました。今の、7月か8月の気温でも、私には、「あつちが暑い！」と思うのに、7000℃もある火が私の横などに落ちてきたら、耐えられないと思います。今日の、原爆先生の特別授業で、昔の人のあつたことで、今があることを知り、昔の人生にし、かりと、感謝の気持ちを持つようと思いました。また、昔の人生の苦勞を、無たにしながら、地球温暖化などにやさしくし、未来につなげたなと思います。また、未来に、戦争などが過去から学び、同じ誤りをくり返さないようにしたいです。そのために、心を広く持ち、平聲で、やさしい言葉を飛びか合うように、人生を大切に作る言葉づかいを出来る私になりたいなと思いました。また、原爆を落とす候補に付、た、京都外、候補外に付おれ、たか、たと思、いました。原爆先生が、日本の文化や伝統外物に、それを大切にしたいと言、てたので、その話を聞いて、未来を大切にしたいなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は今日のお話を聞いて、原子爆弾が広島に投下されて、何が起きたのか、当時の様子などについて深く知る事ができました。広島市人口35万人の中で半数以上の方々が被爆者であり、更にその中の半数以上の14万人の尊い命が失われたと知り、深い悲しみを覚えました。特に死亡率40%、この数値を見て、とても驚きました。池田先生の父、義三さんが体験した事が、「もしなければ...」そう考えてしまいます。元安川等は、人間とは言えない姿の人達で埋まっていた、その真実があったという事は、どれほどに悲しかったのか考えたくもありません。広島市は原爆が投下された後、灰色の世界だったと聞いて、今の世の中がとても幸せであると実感しました。不幸にも原爆投下候補都市になって、とても大きな被害を受けた広島が今では明るくなって良かったと思いました。原爆が上空600mで爆発した時の空気が膨張して出来た球体の中心温度が100万℃と聞いた時は想像もつきませんでした。特に義三さん達はドラム缶のおかげで助かったと聞いてホッとしました。これからは平和で豊かに元気に暮らしていきたい。今日は貴重なお話をありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今日の原爆の学習で「戦争はよくない」と聞いて思いました。ぼくは、戦争はよくないと思っているけれど、戦争があったおかげで今の日本が「あんなにいいかな」と思います。そして戦争の武器として使われた原爆は、とてもひどいものらしく思っています。二度と戦争はあんなにひどいと思いません。原爆は、太陽より熱くて、人間より強いと思います。そして、原爆がおとされて、たくさんの人が亡くなって残念だと思います。おとされて、とても苦しんでいる人は、かわいそうだと思います。でも、アメリカの人は、原爆のおとす位置を日本のために決め、広島と長崎におとしてくれたので、とてもいいと思います。そしてぼくは、今日の原爆の話を聞いておとすのは、戦争はよくない、と、原爆におとすのは、たくさんの人がかわいそう、ということを学びました。そして、かわいそう、こういう悲しみがあんなに、歴史を学ぶことが大切だ、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆の話を書いて社会の教科書には、書いていないことを知ることができました。戦争でいつ、どんな指示がたされたのが、どうして原爆から身を守ることができたのかということとは実際に話を聞いたりしないと分からなかったと思います。そして原爆のときに太陽が600メートルの高さくらいまで、また600メートルの暑さだったと知ってぼくは、おどろきました。ぼくがもしその現場にいたらどうしようと思いました。そしてリトルボーイという原爆が落とされたということもはじめて知りました。でも京都が一番いいと考えていたが京都が古くて歴史のある建物ばかりで、原爆を落とすのをやめたと聞いて原爆を落した国のやさしさでもあるんだと思いました。60年前から今まで、平和でいるのが素晴らしいことなんじゃないかということをおぼろげにまた思うことが出来ました。これからも平和な世の中であってほしい、とこの話を聞いて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の授業を受けて、「命の大切さ」などを強く学びました。原子爆弾で多くの人々がしゅんでせくなくなってしまうこと。どんなに、投下された日生きのびても、やけどや重症をおってしまったこと。このことから「命の大切さ」について改めて学びました。お話を聞いていておどろいたことがありました。それは、原子爆弾の温度です。原子爆弾がおとされて爆発した時 中心地は100万℃、周りが7000℃。600mはなれた地面では3000℃。想像することすらできない暑さにおどろきました。熱線・衝撃波・放射線をあびることは、どれだけ苦しいことかと思います。私は、長崎であった原爆資料館に行ったことがあります。その中には、広島の前爆についても紹介がありました。どちらも多くの人々がせくなり、多くの人々が悲しんだこと。そしてもうそんなことをくり返さないため、もっと原爆について学びたいと思いました。日本はゆいんの被爆国だったからこそ、しっかりと後世や周りの人たちに「命の大切さ」や「原子爆弾」への悲しみを伝えたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回の特別授業を受講して、原爆おぞましさを実感しました。受講する前も広島で「原爆が落とされた恐ろしい出来事があったとは知っていたけれど」、今回の授業では、実際に経験した人しか分からない、広島の様子を知ることができました。特に、私の印象に残っているのは、道を歩く被爆者の様子です。皮膚がはがれおち、肉が丸出しになって、黄色い汁がでている。聞くだけでも恐ろしいのに、実際に見た人は、どんな気持ちだ。ただろうかと考えると、胸にせまる思いです。また、「助けて... 兵隊さん...」という声を聞いても、何もしてあげることができないもどかしさは、つらかったと思います。他にも、原爆が落ちた瞬間を見たアメリカ兵は何を考えていたかなど、次から次へと疑問が湧いてきます。そして、自分たちがこのような気持ちにならないためにも、今回の体験を全ての人が知ってもらいたいとも思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 7

僕は、この授業を通して、あることを学びました。それは、現場にいた人々の気持ちです。火暴発の脅威は、様変わりしても考えられないほど、想像をはるかにこえていました。原火暴によって近くの建物は一崩壊し、近くにいた人も次々と亡くなり、川に飛びこんでも、川はすぐに蒸発し、すぐに、死体が山になった血だまりのようになりました。突然、上空から一つの原火暴が投下されたことにより、大勢の命が奪われてしまい、生き残った家族も、「息子を返せ」「娘を返せ」と、悲しみと同時に、怒りと憎しみがこみあげてきたと思います。僕が現場にいたとしたら、被害者家族と同じ気持ちだと思います。

僕は、現場の人に限らず、日本中の人がかこう思っていると思います。「争いをなくし、平和な世界を築きたい」と、いかなる理由があっても、人を傷つけてはいけな、そう思っている人達は沢山いると思います。この特別授業は、まだ原爆の被害をよく知らなかった僕にとって、とてもよい体験だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/7

原爆先生の授業を通して、ぼくは、兵たいさんの日記と聞いて、その兵たいさんの大変さを、初めて、感じました。その兵たいさんは、ちがう目的で広島に来たのに、原爆のせいで、9日間も地獄のような広島で、亡爆者たちの助けを以てして、それでも文句を言わなっていた兵たいさんの大変さも知って、今までぼくは、原はくと言わずに亡爆した人たちの大変さを考えていたけど、原はくは、その後の活動をしている兵たいさんにも、大きな苦痛をあたえていたことを、知りました。

ぼくは、原爆先生のお父さんがいらしていた、資料館にあるものは「きれいすぎる」という言葉で、今あるものは、少しきれいすぎて、本物のこわさがたんとなくなってしまうんじゃないかと思いました。また、たんと、原爆を体験した人がどんどん教えられるほどたんとなくなっていることについて、そのこわさを忘れてしまってしまうかもしれないことは大変だと思ひます。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

2/7

私は、原爆先生のお話を聞いて思、たこと、
心に残、たことなどが、あります。思、たことは、
二つあり一つは、土俵面や人の様子がうかんた
ことです。声や口で爆発するところや話し方が
上手でわかりやすく心にひびきました。

もう一つは、「なぜ戦争というものがあるのだらう」と
思いました。もし戦争や争いがなく平和な国だ
ったら広島での事件は起きず「多くの死者など」
は出なかったと思います。その中原爆先生の授
業を受けて興味をもち、家に帰、て少し調べて
みました。すると、原爆ドームに落ちる時の映
像を見てもし自分がその場にいたらどうな、ていた
か」など考えていました。

心に残、たことは、原爆先生のお父さんが實際
におこな、たこと」ということです。とくに手紙を
読んでいた、た、い、い、るとき原爆先生のお父さん
の気持ちや伝、わ、てきたことです。そんな中、私は
「二度と戦争が起きなければいいな」と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 7

私は、原爆の話は、何度か本ビデオなどで聞いたことがあったけど今回の授業では、原爆のおそろしさを、より体感することができました。原爆先生が効果音を作ったときにはおどろいたけど、よっぽどおそろしいんだと思いました。先生が話していたむ爆者のヤケドや死体の話を想像すると、とてもぞわぞわします。また、原爆先生のお父様が泣きながら話しているビデオは、戦争の悲惨さを物語っていました。心に残ったのは、「兵隊さんたすけて…」というセリフです。あれを聞くと私まで胸が苦しくなるようでした。

今回の特別授業を受けて、私は原爆に対しての気持ちや見方が変わりました。戦争はあれから今までずっと語りっかされてきた物だから。決して忘れることのないようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/7

原爆先生の授業を受けて、いままで知らなかったことを2つ知りました。まず一つ目は「原爆の威力」です。ぼくは原爆の威力は「強烈」「すごい」としか知りませんでした。

でもこの授業で原爆の表面温度が7000という温度なのをはじめて知りました。

その次の2つ目は原爆の被害を学びました。人を約14万人をころしてしまふほどの悪いものを知りました。

ぼくは思ったことがあります。それは、「なぜ日本はこんなあやまちをおかしたのか」とそれと「原爆が落とされる前になにかでまなかつたのか」と、言いはじめたらとまりません。これは日本に住む人全員が、そう思っていると思います。ぼくはこの授業で、のかなりい出来事をくり返さないようにしようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2 / 7

今日原爆先生の授業を受講して、原爆の怖さや原爆が落ちると、どのようなことが起こるかなどが分かりました。話の最中、交響音が鳴ったりして、まさに広島にいたような感覚でした。原爆が使われると、様々な被害が起こったりするので、戦争またた中は、とても大変だったのだと思います。原爆を落とす候補になった都市を決めたり、するのが、とてもおどろきました。原爆を落とす側も天候を気にしたり、天候が悪いと、原爆を落とす都市を変動させたりするということも始めて知りました。改めて、原爆のことについて学習して一番に思ったのは、原爆(リトルボーイなど)を作らないことが大切だと思いました。原爆の怖さや恐しさなどを知らせ、二度と作ることはしないと想います。今の時代は、日本国憲法で平和主義と定められているので、その条例を守、ていけば、戦争は、二度と起きないと思います。今日は、原爆のことについてたくさんの方のことを教えて下さりありがとうございました。これからもたくさんの方に、原爆の怖さや戦争の恐しさなどを伝えたり、生かして行きたいと思っています。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

（はい）は原爆先生の授業を受けて、
 自分がもしもその原爆が落とされた場所だったら
 早く原爆の爆心地から逃げたいと思
 いました。ところがと言うと、先生の話の中が
 出てきた。爆した人がいるから、
 それ以外にも空が持っている悪い色になっ
 てい
 るから、そういうこともあ、はいはい
 は、はい爆心地から逃げたいと
 思いました。
 はいはい、その後、家に帰、原爆のことをし
 りました。しりてはいはい、あの時か
 けをさかをあらため、知りました。
 はいはい、この原爆のあつちと、
 さいんき、そして、原爆先生でい
 たことを忘れない、原爆の落とされた、
 広島に行き、そのついでなら、たことを
 思い出しておすべうにしようと思
 います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/7

私は話を聞いた時「怖い」と思いました。それは兵器に対してですが、だんだん兵器を使った、「人」が怖いと思うようになりました。「ズルズル」などの音でその場面が想像することができ「もう起きてほしくない」と思いました。たった1回の原爆で14万人の方々が亡くなり、死亡率は40%という高い数でとても悲しく感じました。その人々はどうして死ななければならなかったのかという思いがつのりました。原爆を受けた方々がどんな思いをしたのかは分かりませんが、苦しく、つらかったのは今の私たちでも理解できます。今では法律があり、たいていが平和ですが、世界を見るとそうでない国々もあります。その国をどうするのかというのを考えていかなくてもなりません。ただ、私にはまだ大きな力がありません。なので、大人たちに相談していかなくてもならないと思いました。

このことはなるべく多くの人に伝えていきたいと思いました。今回は大切なことを学ばせていただきありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/7

話の中で、原子爆弾がラジオゾンデをぶらさげ、落ちてきたというのと、エノラ・ゲイが一番おしたのが京都などと、初めて知ったことがたくさんありました。池田さんの父が若いころの話で、胸がとても痛くなったりころがります。それは、体が真赤でひふも、かけはがれている人が「助けて……」と、助けを求めている人がトラキ7に乗りこもうとするけど、乗れなかったたのひ義三さんがおと、たのでしたが、かわがはがれてしまって、すべて、ころんでしま、た。という戸弁です。私も想像するだけで、かわいそうで、くるしそうでしかたがありません。もしも、私がそのような場所にいたら、にげ出すと思います。たくさん死体がころがっている、その死体は、肉がかけ落ちていますが義三さんは、いかなることなく作業を続けていました。砂にげ出したという気持ちにはありましたが、おとりました。話を聞いて、とてもくわしく、ケかの斗犬と兄と説明していただきました。たので、私もケかをしように体が痛く感じました。この授業をして、一つの爆弾、戦争でとれたけの人の命がなくなるかわかりました。また、その命は、もう帰してこないということもわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/9

ぼくは社会の授業で、戦争について学んだけれど、「ふーん、戦争はおそろしいな。」としか思うことはありませんでした。しかし、今回この授業を受けてみて、この原爆の被害についての体感食がすごく詳しくて、より自分の身近に戦争が感じられました。

特に原子爆弾が爆発した時の周りの温度をぼくたちがよく知っている太陽と比べてたりしてもらいとても分かりやすく思えました。

今まで歴史の授業は、起きたことを知るだけだ、たり、客観的にうけていました。しかし、この授業で、自分がその場において、自分自身で感じるということも学ぶことができたと思います。これから歴史では自分自身で感じて、いこうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/7

「ぼくが」今回の授業で学んだことは、原子爆弾はほんのわずかな時間でたくさんの人の命をうばうということです。授業でもおしやっていたように爆弾にあると反動はとけ体中にやけどをおう。これは人の命をうばうことにつながるのではないかとぼくは考えました。また印象に残ったことは、原爆先生が実際に爆弾が落ちた時の音を再現してもらった時です。ぼくはこの時、実際に爆弾が落ちたかのような体験ができました。もし自分がいたなど想像の中で体験することができました。本当のありがとうございました。

今回の授業で実際に爆弾を体験した人の話を聞いたことで、内容がよく頭に入りました。また爆弾のことをよく教えてもらい、改めて原子爆弾の恐ろしさに気付くことができました。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

僕はこの特別授業を受けるまではあまり原爆のことについて勉強もしたことがありませんでした。僕は今日初めて知って驚いたことがありました。それは原爆には、三つの能力があるということです。原爆には熱風、衝撃波、放射線というものがあると知りました。特に熱風は中心の温度百度、表面温度七十度の場所からおくられてきてるからとれただけのいかに想像すると今でも怖いです。

印象的なのは放射線があるということです。熱風や衝撃波とは違い、あとから症状がでると知って驚きました。もし自分がその場にいたら...と思うと原爆の恐ろしさを知りました。映像の中で、原爆がおきるとどうなるかを表している写真がありました。僕はそれを見て僕たちが住んでいる東京は平和だと思いました。

ふつうの講習なら話して終わりののですが、今日は原爆先生が自分の息で表現していきたくて、広島そのものにいぼうな感じがして、体が学べました。

この授業を計て、原爆について、深く知れました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/7

ぼくは今日の原爆先生の特別授業を受講して、原爆のおそろしさやむごさは簡単に伝えられないと感じました。なぜなら、原爆の時を忠実に再現しているはずの人形でさえ、体験した人は「人なまきれいな」と言うからです。先生から、講師の方は原爆の落ちた日の体験の中に入りこんでもらうために話をしていたと聞きましたが、実際ぼくは体験者の「人なまきれいな」という言葉を聞いた時までは、あまり体験の中に入りこめていませんでした。それでも原爆のおそろしさやむごさを知れたのはやはり「人なまきれいな」と聞いたからだと思います。写真で見た被爆者の人形で十分おそろしかつたのに、それよりもむごいのですから、原爆はとてもおそろしいものなのだと感じられました。この貴重な体験は生かすことにはないと思います。貴重なお話を聞かせてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/7

私は、日本に原爆が落とされましたことは知っていました。それにより広島や長崎に住んでいた人々が被爆してどのようなようになりましたか、ということはありませんでした。ですが、今回の授業でどのようなようになりましたのか、どれだけ原爆がおそろしいものであったかが分かりました。

授業で先生が話し方を工夫し、原爆が落ちてきた時の音などまで再現をしてくださったおかげで、まるで自分の目でおそろしい光景を見たように思えました。写真で見たことのある景色がそのまま動き出したように見え、想像していたよりもどれだけ原爆というものがおそろしく、人々に苦しみや悲しみをもたらすものであるのか分かりました。

原爆先生の授業により、たくさんの命を奪う原爆のおそろしさを改めて実感できました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

2/7

最初、私は自分たちに原爆はあまり関係ないと思っていました。ですが、原爆先生の話を聞いてたくさんの方が亡くなっていることを知りました。そして、私は自分たちに関係ないと思っはいけないのではないかと思います。

また、原爆先生の爆たんの音がすごくて私は爆たんの音を聞いたことがなかったのでこんなに大きな音だったと初めて知りました。私は、その場所にいたらと思うとこわいです。

けがをしている人が兵隊さん助けると必死に言っているところが印象に残りました。それで私は、必死に生きたいと思っているのが伝わってきました。

原爆はとても多くの人を被害に合わせたと思っました。私はこのような出来事か昔にあったということを忘れずに暮らして生きたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/7

ぼくは、授業を受ける前、原爆のことについての体験談などくわしいことは知りませんでした。そのため原爆についてくわいと思ったことがありませんでした。けれど今回初めて恐怖を知ったような気がした。原爆がいつ来るかわからないことや原爆が落ちてからの見たことを聞いて本当にその場にいるように感じました。自分にとって衝撃的でありえない表現があったからこそ本当の原爆を知ることができました。また、核表面温度7000℃と地表温度3000℃その他にも爆風、放射線による放射能で周りの建物だけでなく家族までを一瞬で失った被爆者の気持ちに近付きました。その一瞬で多くのものをうばった原爆の被害だけではなく、その時の事実、恐ろしさを風化させないことがぼくたち若い世代の義務だと思います。そしてそのようなことを続けることで非核化までの一歩一歩になっていくと思います。これからどこかの国に原爆が落とされるのではなく、日本が最初で最後の被爆国であってほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/7

今日の授業では、戦争、そしてその中の原爆のおそろしさを知ることができました。原爆は、私たちが産まれる約60年前に広島、長崎に落とされたものです。なので、私たちは原爆のおそろしさを、自分の身で感じることはできません。そんなぼくたちにとり、先生の授業はとてもすばらしいものでした。先生の話し方で、まるでその時代に行ったような不思議な感覚になりました。人間に見えない人間。ぼくたちが全く知らないものです。しかし、その様子を、自分で想像にみると、原爆がいかにおそろしいかは伝えます。

中心地にいた人が、あとだけ残りに消えていった写真を見たとき、ゾッとしました。人間がこんなにおそろしいものを作れるのが...と思いました。

最後に見せていただいた5分の動画が、ずいぶん残りました。原爆資料館を「生かしたい」というほどのおそろしさほどのようなものなためですが、おもわず泣き出してしまふほどのおそろしさは...と考へてしまいました。

今後、今日の授業で知ったことを忘れず生活していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/7

私は原爆先生の授業を受けて原爆のおそろしさやその時の兵隊の大変さなどを学ぶことができました。原爆のことは社会の学習や本でしか見たことがないのであまり知りませんでした。しかしなせ広島と長崎に原爆がおちたのか。今現在はどのようになっているのかなど知りたい部分を知っているように教えてくれてとても良い時間が過ごせました。

私が一番心に残ったのは原子爆弾投下の候補となった京都についておどろきました。戦争中アメリカの人たちは日本のことは考えずに自分の国のことだけを考えて戦争をしていると思っていました。しかし、アメリカは昔から古い歴史がある京都のことを人間にと、その文化財だと思っ、原子爆弾を投下するのをやめた。その思っが今、私の中ではうれしく思っます。なせなら戦争に夢中で自分たちのことしか考えられなくな、た日本とはちがっ戦争をしてても同じ人間として心の傷を多くの人にあたえてはいけなっということが大切だと思、たからです。

今日、この授業を受けられて私は人として大切さそして戦争というもの、はとてもこわく人の命をいっしんでうは、てしまうものだとわかりました。これから戦争のことをわすれずに過ごしていきたく思っます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/7

ぼくは、今まで広島県の原爆の事をあまり知らず、原爆の事を考えたことがありませんでした。今日の授業があるまでは原爆のこおさ、ひどさを全く知らず、原爆先生の話を聞くとしてもおそろい事だとわかりました。それを知ってぼくは二度と戦争をしないと思いましたが、ぼくには心に残ったものが二つあります。まず一つ目は原爆のおそろしさです。太陽よりも熱いものが人々と動物などを消していき、人々がもたえ、苦しみ死にというじごくのようでした。二つ目は原爆がどんなにひどい事かです。自分の家族や友達が死ぬというのがどんなに辛いのがわかりました。原爆のこおさ、おそろしさを初めてわかりました。ぼくは一生戦争をしないとバに決めました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2 / 7

私は社会で世界遺産の原爆ドームを知ったとき、「行ってみたいな」と思いました。なぜなら、戦争での被害がどんなものかなどということに興味があります。だからです。しかし、この原爆先生の特別授業を受け、そんな甘い気持ちではダメではないかと思いました。原爆により、全身丸裸になってしまった人や、手の皮がはがれ、肉が見えてしまった人などがいるということを知ったとき私は、その姿を想像したためか、背中がゾッとしました。原爆ドームは、特別授業で知った原爆による被害がもうレキレイにされた展示となっているようです。しかし、原爆ドームは戦争による被害が表されているものなので、決して暑いものではないと思います。だから、原爆ドームへ行きたいと思うのであれば、原爆による被害がどんなものか詳しく知り、その様子を受け止める覚悟が必要だと思い、原爆の被害を調べ、その被害を受け止めていこうと思いました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/7

本日は原爆の講習をしていたたきありがとうございました。この授業で原爆のい力を知って改めて原爆のおそろしさを感じました。原爆が爆発して球体になるときそれが太陽より熱くとても強い熱風をはなつことをしてその被害者は何もしていないのにかわいそうだと思いました。

それと先生の飛行機の音、爆発したときの音がリアルで印象的でした。それをきいたときびっくりしたけど、広島長崎の人はこれ以上に思いましたのたなと感じました。

後から聞いたのですが先生は授業ということより体験させていると聞きました。だから先生の話をききおくとどのいほけし何よりこの世にもう核はいりません。

先生の話を聞いてそう心にたたきつけられた気がしました。